

評価・評定について

1 学習評価の観点

新学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という資質・能力の三つの柱に基づき、各教科等の目標や内容が整理されました。

併せて、観点別学習状況の評価の観点についても、この資質・能力の三つの柱に基づく「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理して示されました。

2 評価・評定

(1) 評価とは、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、3段階（A・B・C）で評価したものを。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：A

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：B

「努力を要する」状況と判断されるもの：C

(2) 評定とは、各教科の学習の状況を総括し5段階（5・4・3・2・1）で評価したものを。

「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの：5

「十分満足できる」状況と判断されるもの：4

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：3

「努力を要する」状況と判断されるもの：2

「一層努力を要する」状況と判断されるもの：1

3 観点別評価

(1) 評価の手順

各教科で学習内容ごとに目標を設定しています。その目標に対する達成度に応じてA・B・Cの評価をします。

評価	評価規準	達成度
A	十分満足できる状況	80%以上
B	おおむね満足できる状況	47%以上 80%未満
C	努力を要する状況	47%未満

(2) 評価の資料

単元テスト、定期テスト、ワークシート、ノート、振り返りシート、論述、発表、レポート、授業観察、自己評価カード、作品、ポートフォリオ、パフォーマンステストなど

※ 生徒の日々の学習の取り組みや成果を教科計画に基づいて総合的に評価します。

4 観点別学習状況の評価結果から評定への総括

(1) 観点別評価と評定の判定規準

判定	判定規準		評価	評定
A ^o	2.61 ~ 3.00	87% 以上	A	5
A	2.40 ~ 2.61	80% 以上 87% 未満		4
B	1.41 ~ 2.40	47% 以上 80% 未満	B	3
C ^o	0.60 ~ 1.41	20% 以上 47% 未満	C	2
C	0.00 ~ 0.60	20% 未満		1

(2) 観点別学習状況の評価結果から評定へ総括する

十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A^o

十分満足できると判断されるもの：A

おおむね満足できると判断されるもの：B

努力を要すると判断されるもの：C^o

一層努力を要すると判断されるもの：C

A^o = 5点、A = 4点、B = 3点、C^o = 2点、C = 1点とする。

組合せ	合計値	評定とその規準
A ^o A ^o A ^o	15	5 十分と満足できると判断されるもののうち、 特に程度の高いもの
A ^o A ^o A	14	
A ^o A A	13	4 十分と満足できると判断されるもの
A ^o A ^o B	13	
A A A	12	
A ^o A B	12	
A A B	11	
A ^o B B	11	3 おおむね満足できると判断されるもの
A B B	10	
B B B	9	
A B C ^o	9	
A B C	8	
B B C ^o	8	
B B C	7	
B C ^o C ^o	7	
B C ^o C	6	2 努力を要すると判断されるもの
C ^o C ^o C ^o	6	
B C C	5	
C ^o C ^o C	5	
C ^o C C	4	1 一層努力を要すると判断されるもの
C C C	3	

※組み合わせの代表例は、3観点の組み合わせを示したものであり、必ずしも「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の順番で示したものではありません。